

頁	訂正箇所	誤	正																																							
100	右側 3行目の式	$Q_{VD} = \frac{2\pi k \{H_0 - d - (P_c / W)\} \cdot l}{2.3 \log_{10} \left\{ \frac{\sin N_a + \sin N(d-r)}{\sin N_a - \sin N(d-r)} \right\}}$	$Q_{VD} = \frac{2\pi k \{H_0 + d - (P_c / W)\} \cdot l}{2.3 \log_{10} \left\{ \frac{\sin N_a + \sin N(d-r)}{\sin N_a - \sin N(d-r)} \right\}}$																																							
139	左側 8行目	ここに	削除																																							
139	左側 9行目	l : 水面勾配 n : 粗度係数	ここに V : 平均流速 (m/s) R : 径深 (m) l : 水面勾配 n : 粗度係数																																							
177	左側 表-5.3.2 中	<table border="1"> <tr><td>.....</td><td>...</td><td>...</td></tr> <tr><td>ポリ塩化アルミニウム 〔Al₂O₃ (10%) 塩基度 (50%) として〕</td><td>-</td><td>0.15</td></tr> <tr><td>塩素 (Cl₂)</td><td>-</td><td>1.41</td></tr> </table>	ポリ塩化アルミニウム 〔Al ₂ O ₃ (10%) 塩基度 (50%) として〕	-	0.15	塩素 (Cl ₂)	-	1.41	<table border="1"> <tr><td>.....</td><td>...</td><td>...</td></tr> <tr><td>ポリ塩化アルミニウム 〔Al₂O₃ (10%) 塩基度 (50%) として〕</td><td>-</td><td>0.15</td></tr> <tr><td>ポリシリカ鉄 (PSI-025) (Fe として)</td><td>(4%)</td><td>0.11</td></tr> <tr><td></td><td>(6%)</td><td>0.18</td></tr> <tr><td>塩素 (Cl₂)</td><td>-</td><td>1.41</td></tr> </table>	ポリ塩化アルミニウム 〔Al ₂ O ₃ (10%) 塩基度 (50%) として〕	-	0.15	ポリシリカ鉄 (PSI-025) (Fe として)	(4%)	0.11		(6%)	0.18	塩素 (Cl ₂)	-	1.41															
.....																																								
ポリ塩化アルミニウム 〔Al ₂ O ₃ (10%) 塩基度 (50%) として〕	-	0.15																																								
塩素 (Cl ₂)	-	1.41																																								
.....																																								
ポリ塩化アルミニウム 〔Al ₂ O ₃ (10%) 塩基度 (50%) として〕	-	0.15																																								
ポリシリカ鉄 (PSI-025) (Fe として)	(4%)	0.11																																								
	(6%)	0.18																																								
塩素 (Cl ₂)	-	1.41																																								
183	表-5.3.6 中	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>薬品の種類</th> <th>注入方式</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">凝集剤</td> <td>液体硫酸アルミニウム</td> <td>湿 式</td> <td>酸化アルミニウム (Al₂O₃) 換算として 6-8% のものを使用する。</td> </tr> <tr> <td>ポリ塩化アルミニウム</td> <td>湿 式</td> <td>酸化アルミニウム (Al₂O₃) 換算として 10-11% のものを使用する。</td> </tr> <tr> <td>固体硫酸アルミニウム</td> <td>湿 式</td> <td>固形硫酸アルミニウムは、水溶液として注入する。</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>.....</td> <td>...</td> <td>.....</td> </tr> </tbody> </table>		薬品の種類	注入方式	備 考	凝集剤	液体硫酸アルミニウム	湿 式	酸化アルミニウム (Al ₂ O ₃) 換算として 6-8% のものを使用する。	ポリ塩化アルミニウム	湿 式	酸化アルミニウム (Al ₂ O ₃) 換算として 10-11% のものを使用する。	固体硫酸アルミニウム	湿 式	固形硫酸アルミニウムは、水溶液として注入する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>薬品の種類</th> <th>注入方式</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">凝集剤</td> <td>液体硫酸アルミニウム</td> <td>湿 式</td> <td>酸化アルミニウム (Al₂O₃) 換算として 6-8% のものを使用する。</td> </tr> <tr> <td>ポリ塩化アルミニウム</td> <td>湿 式</td> <td>酸化アルミニウム (Al₂O₃) 換算として 10-11% のものを使用する。</td> </tr> <tr> <td>固体硫酸アルミニウム</td> <td>湿 式</td> <td>固形硫酸アルミニウムは、水溶液として注入する。</td> </tr> <tr> <td>ポリシリカ鉄 (PSI-025)</td> <td>湿 式</td> <td>鉄 (Fe) 換算として 4-6% のものを使用する。</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>.....</td> <td>...</td> <td>.....</td> </tr> </tbody> </table>		薬品の種類	注入方式	備 考	凝集剤	液体硫酸アルミニウム	湿 式	酸化アルミニウム (Al ₂ O ₃) 換算として 6-8% のものを使用する。	ポリ塩化アルミニウム	湿 式	酸化アルミニウム (Al ₂ O ₃) 換算として 10-11% のものを使用する。	固体硫酸アルミニウム	湿 式	固形硫酸アルミニウムは、水溶液として注入する。	ポリシリカ鉄 (PSI-025)	湿 式	鉄 (Fe) 換算として 4-6% のものを使用する。
	薬品の種類	注入方式	備 考																																							
凝集剤	液体硫酸アルミニウム	湿 式	酸化アルミニウム (Al ₂ O ₃) 換算として 6-8% のものを使用する。																																							
	ポリ塩化アルミニウム	湿 式	酸化アルミニウム (Al ₂ O ₃) 換算として 10-11% のものを使用する。																																							
	固体硫酸アルミニウム	湿 式	固形硫酸アルミニウムは、水溶液として注入する。																																							
...																																							
	薬品の種類	注入方式	備 考																																							
凝集剤	液体硫酸アルミニウム	湿 式	酸化アルミニウム (Al ₂ O ₃) 換算として 6-8% のものを使用する。																																							
	ポリ塩化アルミニウム	湿 式	酸化アルミニウム (Al ₂ O ₃) 換算として 10-11% のものを使用する。																																							
	固体硫酸アルミニウム	湿 式	固形硫酸アルミニウムは、水溶液として注入する。																																							
	ポリシリカ鉄 (PSI-025)	湿 式	鉄 (Fe) 換算として 4-6% のものを使用する。																																							
...																																							
185	左側 図-5.4.1 中																																									
189	右側 35行目の式	$G \cdot T = 173 \times 120 = 2.08 \times 10^4$ [-]	$G \cdot T = 173 \times 120 = 2.08 \times 10^4$																																							
253	左側 31行目	このため無機膜の場合は、濁質粒子の荷電中和のために、凝集剤の注入は不可欠といえる。	このため、無機膜の場合は、 <u>処理対象となる原水によって</u> は、濁質粒子の荷電中和のために凝集剤の注入が必要である。																																							
255	左側 3行目	無機膜は有機膜に比較して耐熱性や耐薬品性がよく、物理的強度もあるが衝撃に弱い。また、凝集剤の注入は必要であるが、内圧式の膜では凝集剤の注入を行うことが適さない場合もあるため注意が必要である。 なお、膜はその材質により寿命や価格に大きく差があることから、経済性を含めた総合的な検討が必要となる。	無機膜は有機膜に比較して耐熱性や耐薬品性がよく、物理的強度もあるが衝撃に弱い。 なお、凝集剤の注入は必要であるが、内圧式の膜では凝集剤の注入を行うことが適さない場合もあるため注意が必要である。また、膜はその材質により寿命や価格に大きく差があることから、経済性を含めた総合的な検討が必要となる。																																							
297	表-5.13.3 中 (乾式注入設備の列)	・密閉型の貯蔵層が高価である	・密閉型の貯蔵槽が高価である																																							
299	左側 23行目	配置しなければならない。	配置しなければならない。																																							

頁	訂正箇所	誤	正
432	図-7.1.1 中 (8箇所)	配水支管鋼ブロック	配水支管網ブロック
483	図-7.5.27 中	コンクリート巻立て	コンクリート巻立て
514	参考図-7.8.1 中 (9) 2の式)	$\delta \cos \frac{\theta}{2} = \delta_2$	$\delta \sin \frac{\theta}{2} = \delta_2$
515	左側 17行目の式	$l_1 = \frac{P_2}{\mu \cdot \gamma \cdot H' \cdot \pi \cdot D_2 \cdot g} = 20.920(m)$	$l_1 = \frac{P_2}{\mu \cdot \gamma \cdot H' \cdot \pi \cdot D_2} = 20.920(m)$
517	左側 13行目の式	$L' \geq \frac{S_f \times p \cdot A \cdot \sin \frac{\theta}{2}}{\sin \frac{\theta}{2} \cdot \mu \cdot \gamma \cdot H_c \cdot \pi \cdot D_2 \cdot g + \frac{1}{4} \cos \frac{\theta}{2} \cdot C'_e \cdot \gamma (h_2^2 - h_1^2) R}$	$L' \geq \frac{S_f \times p \cdot A \cdot \sin \frac{\theta}{2}}{\sin \frac{\theta}{2} \cdot \mu \cdot \gamma \cdot H_c \cdot \pi \cdot D_2 + \frac{1}{4} \cos \frac{\theta}{2} \cdot C'_e \cdot \gamma (h_2^2 - h_1^2) R}$
517	左側 21行目	(1)離脱防止継手の使用方法	(1)離脱防止金具の使用方法
518	左側 8行目	3)垂直曲血管の数値計算例	3)垂直曲管の数値計算例
519	左側 14行目	(19) ~ (22)式を連立方程式で解けば	(20) ~ (23)式を連立方程式で解けば
519	左側 15行目の(24)式	$P_2 = \left(\frac{-\alpha\beta}{K} \right) \tan^2 \frac{\theta}{2} + \sqrt{\left(\frac{\alpha\beta}{K \tan^2 \frac{\theta}{2}} \right)^2 + \frac{\alpha\beta P \tan \frac{\theta}{2}}{K \cos \frac{\theta}{2}}}$	$P_2 = -\frac{\alpha\beta}{K} \tan^2 \frac{\theta}{2} + \sqrt{\left(\frac{\alpha\beta \tan^2 \frac{\theta}{2}}{K} \right)^2 + \frac{\alpha\beta P \tan \frac{\theta}{2}}{K \cos \frac{\theta}{2}}}$
533	右側 26行目	復旧器材	復旧機器
542	図-8.2.16 の名称	渦巻きポンプとディヒューザポンプ	羽根車の形状、Ns、ポンプの形式の関係
542	図-8.2.16 中	ポンプの形状	ポンプの形式
550	表-8.2.5 中 (適用系の列 3箇所)	実揚程	実揚程
552	図-8.2.34 中	回転数	回転速度
554	左側 6行目	[参考8.2]	[参考-8.2]
577	左側 9行目の式	$\Delta p = \zeta \cdot \frac{\rho v^2}{2g}$	$\Delta p = \zeta \cdot \frac{\rho v^2}{2}$
578	右側 33行目の式	$\frac{Q}{Q_{\max}} = A \sqrt{\frac{\zeta_{\min} + C_p}{\zeta + C_p}}$	$\frac{Q}{Q_{\max}} = \sqrt{\frac{\zeta_{\min} + C_p}{\zeta + C_p}}$
589	左側 4行目	フロッキュレータ	フロキユレータ
627	図-8.10.6 の名称	大画面表示装置とLED表示装置の例	大画面表示装置とLCD表示装置の例
660	図-8.12.1 中(制御項目)	フロッキュレータ	フロキユレータ
693	右側 19行目	参考表-7.1.1(1)	[参考 7.1] (1)
694	右側 1行目	参考表-7.1.1(2)	[参考 7.1] (2)
745	右側 28行目	附属書	附属書(参考)
800	(索引) 硬質ポリ塩化ビニル管	438, 460, 461, 462, 463, 464, 466, 468, 470, 472, 474, 475, 476, 477, 480, 503, 504, 505, 711	461, 711